

京都 にとっておきの紅葉



三陸鉄道グルメ三昧の旅

# 旅の手帖

赤や黄に  
染まる京都を  
ゆったりと

2019

JRグループ協力  
オールカラー

定価 本体 591円+税

歴史深い  
群馬の古社・古刹  
上州の  
神社仏閣  
ご朱印めぐり

ニッポン文化応援マガジン

日本最長の第三セクター鉄道で行く

## 三陸鉄道 おいしい 途中下車の旅

海女の町で琥珀井に“じゃ!”

久慈

目にもおいしい瓶トンの数々を

宮古

製鉄魂を受け継ぐラクビータウン

釜石

# 京都 とっておきの 紅葉

人混みを避けてゆっくり見たい

錦繡のゴールデンルートをゆく

王道の東山コース

清水寺、南禅寺、銀閣寺

洛北のやさしい情緒に包まれて

しっとり鷹峯コース

光悦寺、常照寺、太閤山荘

伝統と日常が楽しめる密かな名所

ツウ好みの一乗寺コース

詩仙堂、圓光寺、曼殊院門跡

平安貴族が紅葉をめでた源氏物語の舞台

清流沿いの宇治コース

三室戸寺、興聖寺、平等院



おいしい

# 途中下車の旅

# 三陸鉄道

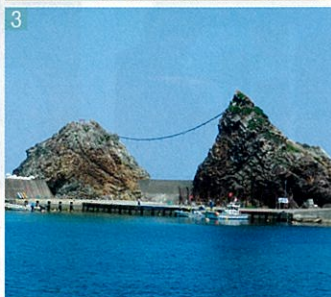
日本最長の  
第三セクター鉄道で行く



今年3月、8年前の震災を経て  
三陸鉄道リアス線が開通しました。  
沿線の青く輝く入り江で育つ  
ウニ、ホタテにカキ、ホヤ。  
黒潮と親潮がぶつかる沖は  
サバやサンマの好漁場。  
久慈く盛の163kmを途中下車しつつ楽しむ、  
グルメ旅へと出発進行♪

三陸海岸を走るリアス線。堀内駅付近にて 写真=三陸鉄道





- 1 目の前で海女の素潜り実演が見られ、ふれあいのチャンスも!
- 2 小袖海女センター前の穏やかで澄んだ海が実演会場となる
- 3 小袖海岸エリア内にある景勝地、夫婦岩
- 4 いい獲物を素早く見つけ、傷をつけることなく丁寧に獲る海女の技

碧い海に揺れる“北限の海女”  
小袖海岸

久慈湾と外洋の境目付近にあり、夏期の休日には海女漁の実演も行われている観光名所。花崗岩や火山岩が多く、浸食されてつりがね洞や夫婦岩などの景勝地を造っているほか、海中の岩礁にはウニやアワビなどが多く棲息している。

☎0194-54-2261 (小袖海女センター) / 小袖海女センターは9:00~16:00、無休(素潜り実演は7~9月の土・日曜・祝日) / 無料(実演見学料500円) / 岩手県久慈市宇部町24-110-2 (小袖海女センター) / 三陸鉄道リアス線久慈駅からバス30分の小袖海岸下車、徒歩5分

三鉄と隣接のJR久慈駅。東北新幹線八戸駅からJR八戸線で約1時間40分 写真=交通新聞クリエイト



あまちゃん愛をいつまでも  
あまちゃんハウス

撮影に使われたジオラマの実物や衣装、関連グッズを展示する、あまちゃんファンの聖地。イラスト展やクイズ大会などドラマに関連した催しも実施。地元土産品の販売コーナーのほか、イスやテーブルがあり、休憩所としても利用できる。

☎0194-61-4600 / 9:00~17:00、水曜休 / 無料 / 岩手県久慈市中央2-9 / 三陸鉄道リアス線久慈駅から徒歩1分



懐かしさが込み上げる展示に、1時間ほど見物する人も

**連** 続テレビ小説「あまちゃん」で全国的にその名を知られるようになった久慈市。放送から5年以上経った今でも、ファンも地元も、あまちゃん熱は冷めることを知らない。撮影に使われたジオラマや衣装などを展示するあまちゃんハウスでは、来訪者たちがドラマの思い出に浸っていくそうだ。

久慈の海女は明治時代初頭、男性が遠洋漁業で留守の間、女性が素潜りでアワビ、ワカメなどを獲るようになったのが発祥だという。日本の海女漁の北限とされ、昭和34年のラジオドラマを機に「北限の海女」の名が広がった。道の駅くじやませ土風館は、土産品のほか新鮮な地元食材コーナーやスーパーもあり、近所から来た風の市民の姿も多い。中にあるレストラン山海里は、魚介から肉まで多彩なメニュー。新鮮な魚貝が山と盛られた丼物のコースの高さには思わず「じえ！」が飛び出る。あまちゃんで有名になったまめぶ汁もぜひ食べたい。山間の集落に古くから伝えられてきた素材な郷土料理だ。丁寧に料理され、出汁を吸った具材がふっくらとしておいしい。

向かいの歴史通路広場に店を構える海ごはん浜やの天然ほやめし、うにめしも要チェックだ。特に伝統的な南部もぐり潜水し、手作業で採取した貴

海女の町で  
琥珀井に「じえ！」  
久慈

三陸鉄道最北端の久慈は、海にも陸にも宝物があふれる。海の幸を味わいながら、地面を掘ったり、地中に潜ったり、幅広く、そしてダイープに楽しめるのがこの町の魅力だ。

取材・文 平野智子 撮影 大谷広樹

岩手県久慈市



地中の琥珀に見立てた国産牛肉も埋蔵する レストラン山海里の琥珀井2740円



右/地元ならではの品物が数多く並ぶ物産館の土産品コーナー  
左/町なかにある道の駅。清潔なトイレや銀行ATMも備えて便利

### 海から山まで久慈を味わう 道の駅くじやませ土風館

地元産品、土産品を扱う物産館の土産館とレストラン山海里を含む観光交流センターの風の館からなる。質、量ともに充実した品ぞろえの土産館、郷土食メニューもあり満足できるレストランには、旅行者だけでなく市民も集まる。

☎0194-52-2289(土産館)/9:00~19:00(10~3月は~18:00)、レストラン山海里は11:00~18:30(10~3月は~17:30)LO、無休/岩手県久慈市中町2-5-6/三陸鉄道リアス線久慈駅から徒歩7分



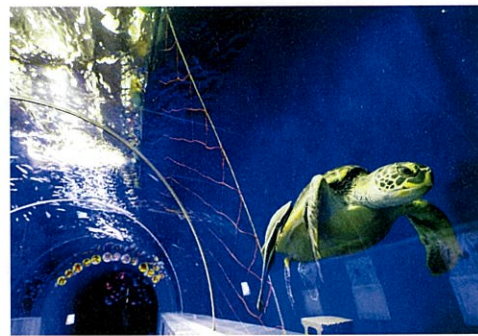
伝統的な調理法に近い作り方で提供されるまめぶ汁570円



琥珀を含む9000万年前の層の土が詰まった琥珀の缶詰1080円。お土産にも



【観光の問い合わせ】  
久慈市観光物産協会 ☎0194-66-9200



水中にいるような気分を味わえるトンネル水槽。手前はかめ吉くん

### 海の生き物に合いに地下空間へ もぐらんぴあ水族館

久慈国家石油備蓄基地のトンネルを使った日本初の地下水族館。じかにエサやりができるふれあい水槽、角質を食べる魚の体験、光るクラゲの水槽などのほか、防災関係も展示。伝統の南部もぐりや海女の実演も見られる。

☎0194-75-3551/9:00~18:00(11~3月は10:00~16:00)、月曜(祝日の場合は翌日)休/700円/岩手県久慈市侍浜町麦生1-43-7/三陸鉄道リアス線久慈駅から徒歩18分



右/屋上展望台からは、久慈湾と石油備蓄基地を見ることが出来る  
左/全国からの支援を受けて、震災の被害から復活した

### 9000万年前を体感! 久慈琥珀博物館

国内唯一の琥珀専門博物館。琥珀に親しむ展示の新館、人と琥珀の歴史を伝える本館のほかに琥珀ショップ、レストラン、探掘坑道跡、探掘体験場などがある。琥珀探掘体験は1時間1500円で12月末まで実施。

☎0194-59-3831/9:00~16:30受付、無休/500円/岩手県久慈市小久慈町19-156-133/三陸鉄道リアス線久慈駅から徒歩10分の森前下車、車5分(森前バス停から送迎あり、要予約)



1 新館の展示。左奥は光と音で琥珀の誕生を表現する体験カプセル。右は琥珀がもつという願望成就効果にちなんだ琥珀ポスト。願い事を書き投函できる。2 探掘体験での成果。3 東京から来たというリピーターの家族連れ

### 選りすぐりの海の幸を地酒とともに

#### 磯や

新鮮、良質な海の幸を、板前の腕でさらにおいしく食べさせてくれる居酒屋。久慈市の福来や二戸市の南部美人など岩手県北の酒蔵の地酒もあり、なかには扱店限定のものも。落ち着けるしゃれた店構えも魅力的だ。

☎0194-52-7727/17:00~23:00、日曜休/岩手県久慈市本町1-2/三陸鉄道リアス線久慈駅から徒歩3分



- 揚げ物料理が得意な林崎正則さん。どんこが本当においしかった
- 茶目っ気たっぷりだが、頼れる貫禄の女将・加藤優子さん
- 吹き抜けのこの空間のほかに小上がりの個室と、2階には座敷がある
- おいしい料理を保証してくれそうな笑顔の板前・田中大貴さん



絶品、どんこの唐揚げ756円と刺し身盛り合わせ一人前1620円



手打ちそばからタコスまで、小さな店舗が5つ並ぶ歴通路広場内に立地

### 磯の香りが広がる浜の家ごはん 海ごはん 浜や

岩手県認定の食の匠で、「浜の家庭料理」を得意とする庭静子さんの飲食店・はまなす亭(洋野町種市)の味を広める提携店。道の駅くじでもうにめし、ほやめしの立ち売りを行っており、完売時点で閉店となる(予約可)。

☎070-6628-8502/10:30~13:30(なくなり次第閉店)、月・水曜休(祝日の場合は営業、別途振り替え休。出張販売のため休む場合あり)/岩手県久慈市中町2-5-6/三陸鉄道リアス線久慈駅から徒歩7分



天然素材を生かしたやさしくておいしい品々。ほやめし(右)とうにめし。各400円



もぐらんぴあ水族館方面にある美しい地層・半崎の露頭。湾の対岸からも見える

重なる天然ものを使用したほやめしは、ホヤが苦手な人も心変わりしそうなおいしさだ。  
夜は居酒屋・磯やへ。良質な食材を信頼する複数のルートで仕入れられているといい、女将の加藤優子さんいわく、「二度締めたヒラメが、運搬中にトラツクの荷台から脱走した」というほど元気な食材たちが、板場で最適な状態に仕上げられて登場する。どんこ(エゾアイナメ)の唐揚げも、驚くほどのムチムチ感。ほん酢でいただくそのおいしさといったらもう……。  
久慈の宝物は地中にもある。一つは琥珀。宝飾品としても知られるが、実は地中で長い年月をかけて作られる松ヤニのようなものの化石で、久慈は国内唯一、世界でも屈指の産地だ。日本で唯一の専門博物館、久慈琥珀博物館があり、約9000万年前の地層に眠る琥珀の探掘体験ができる。近年ここで高校生が、白亜紀後期では国内初のティラノサウルスの化石を発見したとか。やるな、高校生!  
もう一つは、海の生物が地下で待つもぐらんぴあ水族館。震災で壊滅的な被害を受けたが、奇跡的に数匹の生物が助かった。その一匹、アオウミガメのかめ吉くんが何ごともなかったかのように悠々と泳ぐ姿は、まるで楽園。命の愛おしさを教えられた気がする。

目にもおいしい  
瓶ドンの数々を

# 宮古

岩手県宮古市

宮古の新しいプロジェクト、「瓶ドン」が元気だ。参加10店が思い思いに選んだ宮古の食材の瓶詰めを食べる人のセンスでご飯の上に広げたら、さあ、召し上がれ！

取材・文＝平野智子 撮影＝大谷広樹



瓶の具を丼に広げた1日限定30食、魚彩亭すみよしの瓶ドンRED HOT

一三 陸ではずっと前から牛乳瓶に詰めた生ウニが売られてきた。地元では普通と思ってきたが、比較的近年、実は全国的ではないことが発覚した。そのウニをヒントに考案されたのが、さまざまな具を見た目にも美しく瓶に詰めて出す「瓶ドン」だ。中身は店によりそれぞれ。ほとんどが海産物だが、川魚や肉、野菜も使われる。

食べ倒れる前に、浄土ヶ浜を眺めておこう。最初に、三陸復興国立公園全体の自然や景観についての展示を行う浄土ヶ浜ビジターセンターを見学し、最下階から海沿いの遊歩道に出て、八戸まで続くといわれる八戸穴に入るさっぱ船に乗り込む。青の洞窟ともいわれ、天気によって青や緑に色を変える海と、外界と切り離されるような感覚の洞窟が神秘的だ。

市街地に戻り、魚菜市场に立ち寄る。相変わらず、旅行者や市民でにぎわっている。宅配サービスも充実し、旅行中でも安心して買い物ができる。

さて、いよいよ瓶ドン。まずは駅前と並ぶ2店に注目。3代目が包丁を握る名店、蛇の日本店の「瓶ドン」蛇の目おまかせ(大)は、大小の瓶がセツトになった豪華版。中身は基本的に宮古産で、ウニ、イクラ以外は時期により変わる。「揚がったばかりの魚介を入手してすぐにさばく」と言葉少な

## 小舟で潜入する神秘的な洞窟 浄土ヶ浜

「さながら極楽浄土の如し」といわれた白い岩、緑の松、碧い海が眺められる三陸有数の美しい浜。浄土ヶ浜マリンハウスではさっぱ船遊覧の運航や各種ボート、釣り具などのレンタルを行い、穏やかな湾での安全な遊びを提供している。

☎0193-63-1327(浄土ヶ浜マリンハウス) / 8:30~17:00、12~2月休 / 青の洞窟(さっぱ船遊覧)1500円ほか / 岩手県宮古市日立浜町32-4 / 三陸鉄道リアス線宮古駅からバス15分の浄土ヶ浜ビジターセンター下車、徒歩5分



- 1 碧い海に浮かぶ流紋岩の岩礁に緑の松。浄土の如く美しき風景なり
- 2 八戸まで続くといわれる八戸穴へ、さっぱ船(磯船)でいざ潜入!
- 3 薄暗い洞窟内で振り返ると、神秘的な水と岩の光景が広がる



## 三陸復興国立公園の情報発信基地 浄土ヶ浜ビジターセンター

国立公園内にある環境省の直轄ビジターセンター。三陸復興国立公園や浄土ヶ浜周辺の見どころ、地域の自然との関わりなどを紹介するほか、各種体験プログラムも実施している。海を見下ろす位置にあり、眺めもいい。

☎0193-65-1690 / 8:00~18:00(11~3月は9:00~17:00)、無休/無料 / 岩手県宮古市日立浜町32-69 / 三陸鉄道リアス線宮古駅からバス15分の浄土ヶ浜ビジターセンター下車すぐ



上/端正な外観。平屋風だが3階建てで、見えているのが3階部分  
右/シャープな印象の内観。パネルの右奥は体験シアターになっている





お客さんたちがしゃがみ込んで話に花を咲かせる。市場はこれ楽しい

### 鮮度抜群、ここならではの海の幸 宮古市魚菜市場

今年3月にリニューアル。よそ見をしていると水をかけてくる元気なホタテやほかではあまり見かけない魚など、魅力的な品物が並び、見ているだけでも楽しい。農作物部門も元気で、新鮮でおいしい野菜が手に入る。

☎0193-62-1521 / 6:30~17:30、水曜日休 / 岩手県宮古市五月町1-1 / 三陸鉄道リアス線宮古駅から徒歩7分



右 / この笑顔につられ、つい買ったとうもろこしが甘くておいしかった~  
左 / 鮮魚店の魚のおいしさは格別。1尾まるまるさばいてもらいたい



重茂半島のウニを使った焼うどんに2160円



中骨の粉末入りの鮭の中骨かりんとう370円はマリンコープDURAで購入可



- 1 三陸蝦夷あわび会席は魚の刺し身から三元豚まで並ぶ豪華版
- 2 小さいかなと思う瓶からどんどん出てくる、海鮮瓶ドン1620円
- 3 客室は和洋両タイプ。余裕のあるスペース取りでゆっくり休める



【観光の問い合わせ】  
宮古観光文化交流協会 ☎0193-62-3534

### 魚介とサービス精神がてんこ盛り 魚彩亭すみよし

山盛りの魚介を見た客が「上」かと思ひ、「頼んでいない」ということがたびたび起きるほどコストパフォーマンスが高い。瓶ドンは、具を井にのせきれず客が悲鳴を上げることも。店長のアイデアと優れた地元食材が生きる料理は一食の価値あり。

☎0193-62-3244 / 11:00~13:30LO-17:00~21:00LO、不定休 / 岩手県宮古市栄町2-10 / 三陸鉄道リアス線宮古駅から徒歩



上 / 準備中の札を出していても、入ってくる人がよくいるというほどの？人気店  
右 / 井に無造作に空けてもきれいに並ぶように詰め方も工夫されている、RED HOT1500円



### 三陸を味わう地産地消ビュッフェ 休暇村 陸中宮古

「いわて地産地消一つ星レストラン」に認定されたレストランが提供する、地元食材を大切に料理が好評な宿泊施設。宿泊者を対象とした浄土ヶ浜ナイトツアー（期間限定）や朝のお散歩会などのイベントも実施している。

☎0193-62-9911 / 1泊2食1万800円〜 / 日帰り入浴11:00~20:00、無休。510円 / 67室 / ラジウム人工泉 / 岩手県宮古市崎嶽ヶ崎18-25-3 / 三陸鉄道リアス線宮古駅から徒歩30分の休暇村下車、徒歩1分（宿泊者のみ宮古駅から徒歩1分、要予約）



上 / 大きな窓から光が差し込む明るい大浴場。低温サウナもある。  
左 / 木々に囲まれ、周辺にはウォーキングコースも整備されている

に胸を張る大将がカッコイイ。隣の魚彩亭すみよしは、初期の瓶ドンは日替わりだったが、仕入れに合わせたアレンジをリピーターに「この間と違う」と言われて、中身を固定することに決めた。「今日は（具が）ありません」と言いたくなくて、年間で仕入れの契約をしたり、時化になりそうときは前もって仕込みができるものを考えました」とアイデアマンの店長、宇都宮純一さん。その試行錯誤の結果、一日限定30食、通年食べられる瓶ドン「RED HOT」が誕生した。

料理が好評な休暇村 陸中宮古は、90mlの小瓶2本に計10種類の海の幸を詰めた「海鮮瓶ドン」。南三陸産のマグロがうまい。炙った魚を使った大瓶1本の「炙り瓶ドン」もある。

瓶ドンまつりのあと、さらに宮古の海の幸を求めて大衆わいん酒場ののらくらへ。地元食材をおいしく食べさせてくれる店で、特に弾力性抜群、味も濃厚に引き出されたホタテのアヒージョは感動的だ。通常は畠山拓也さんが一人で切り盛りしているというのもすごいが、26歳と聞いてもう一回驚く。頼もしい青年の働きを見ながら、出合った海鮮と飲食店の心意気を感じる。宮古には、お腹は十分に空けて挑みたい。食べ切れなかったりしたら……、まあ、また来ればいいのか！

### 創業80年超の暖簾の味 蛇の目本店

宮古といえば真っ先に名前が上がるほどの有名店。昼食時はかなり混むが、駅からのアクセスもよく立ち寄りやすい。寿司のほかにも揚げ物、ラーメン、丼物とメニューは驚異的に多彩で、どれも美味しくおいしい。

☎0193-62-1383 / 10:00~15:00頃-16:00頃~20:30LO、水曜日休 / 岩手県宮古市栄町2-8 / 三陸鉄道リアス線宮古駅から徒歩



右 / 大小2本の瓶がつく瓶ドン 蛇の目おまかせ(大) 2916円  
左 / 宮古駅前に店舗を構え、ひっきりなしに客が出入りする

右下 / 気取らない店構えで一人でも入りやすい  
下 / 活ホタテのアヒージョ 880円（手前）と旬の宮古産魚介を使ったカルパッチョ1280円。パンは地元人気店の食パンを、レトロなデザインのさまざまなパンの袋に入れて提供する。



### ワインとともに味わう三陸の海の幸 大衆わいん酒場 のらくら

「地物、旬のもの」をテーマに、良質な魚介を最大限に生かした洋風料理とスペイン産をはじめとする各国のワインを気軽に楽しめる店。生産者直送の生きたおいしい食材を仕入れる。明るいながらも落ち着いた店の雰囲気もいい。

☎0193-77-4416 / 17:00~23:30LO、月曜日休 / 岩手県宮古市大通1-3-15 / 三陸鉄道リアス線宮古駅から徒歩5分



店長の畠山拓也さん(左)と、助っ人で前店長の島崎雄さん



上 / 写真では見えない具もたくさん入った、北三陸ごはん2700円も人気  
右 / ご飯は器の半分くらいまで、あとは全部魚介のトッピング4320円



地質を知れば10倍楽しい

# 三鉄沿線 景観の見方



三陸鉄道沿線は三陸ジオパークにも認定された、特徴的な地質が見られる地域。奇岩、断崖が造る景観の美しさやダイナミズムへの感動から一歩踏み込んで、これまでとは少し違った方法で楽しむエッセンスを、地質学の専門家に聞きました。



望月貴史さん  
東京大学大学院地球惑星科学専攻修了。岩手県立博物館勤務。三陸ジオパーク学術アドバイザーを務める。

## 三陸を形成する リアス海岸と海成段丘

景観はさまざまな地質が海洋プレートの動きや噴火、海面の高さの変化ほか地球活動の影響を受け続けて造られています。今地表に見える景色は必ずしも地下の基盤と一致しないのですが、現在の三陸は、宮古市以南はかつての谷の部分に海水が入り込んで海となったりリアス海岸、それより北は昔の平らな海底が隆起した海成段丘と呼ばれる地形になっています。広く見渡すと、南部は山の峰が海まで続く三角屋根のような地形で、北部は横から見ると上部が平らで縁が海にストンと落ちる四角や台形のような形であることがわかります。

## これまでも、これからも 変わり続ける景観

海沿いの崖と海に浮かぶ大きな岩礁に、同じような地層の縞模様が同じ方向に伸びていることがあります。こうした場所は、大昔は一つのつながった地層だったものが、長い年月をかけて崩れたり削られたりして（侵食）、離れ離れになったと考えられます。下の写真にある、久慈市小袖海岸のつりがね洞も、元は穴の空いた岩礁と、右端の小さい岩礁が一体でしたが、侵

食されてこのようになりました。ところで、なぜつりがね洞というか不思議に思いませんか。穴は、弱い部分が侵食されてきたものですが、明治29年（1896）の津波で壊されるまで、その中に釣り鐘のような岩がぶら下がっていたからなのです。

十府ヶ浦海岸駅より北の海際に、見事な縞模様の崖が車窓からも見えます。約6300万年前の地層、大唐の倉です。地層は多くの場合、海の中で溜まりますが、ここはかつての川で堆積したもの。大船渡市の穴通磯（P97）と同様に、水平に溜まった地層が地殻変動で傾き、斜めに現れています。

## 足下の土が語る 壮大な地球の履歴

地球活動が変えるのは景観だけではありません。実は岩手は恐竜化石は日本列島では見つからないという予想を覆した、日本初の発見地です。そのからくりは、白亜紀に当時の大陸沿岸部で死んだ恐竜が流されて海に沈み、その後海底が隆起して陸となり、さらに移動して大陸から離れ、昭和53年に恐竜化石・モシリユウとして発見されたという、地球活動によるものなのです。そんな地球の歴史を思いながら見回せば、今までは違った風景が見えてくるかもしれません。

昔の海底が今は丘のてっぺんに

## 北山崎

形成年代 1億3000万年前(中生代白亜紀)

高さ200m近くもあるこの断崖絶壁は、白亜紀は海底だったところが隆起してできた海成段丘。上部の平らな面はかつての海底で、崖は波で削られてこのような形になった。●三陸鉄道リアス線田野畑駅から車20分



遠目に見るとわかる円形に並ぶ岩

## 浄土ヶ浜

形成年代 約4000万年前(新生代古第三紀)

地中で鏡餅のような形に固まったマグマが帯とともに隆起し、侵食されてきた景観。浜の正面の岩山は鏡餅の縁、浜辺は中心部近く。白い岩は流紋岩といい、マグマが流れた模様の流理構造が見られる。●三陸鉄道リアス線宮古駅からバス20分の奥浄土ヶ浜下車すぐ



日本の恐竜化石発見のさきがけ

## モシリユウ発見の地

形成年代 1億1000万～1億年前(中生代白亜紀)

たまたま訪れていた研究者が滞在する民宿裏の崖で見つけた世紀の大発見。化石保存に使うため、当時町から瞬間接着剤が消えたという。化石は地球最大の陸生脊椎動物といわれる竜脚類のマメンキサウルスに類似する。●三陸鉄道リアス線岩泉小本駅から車5分



連なる山々が海に沈んで入り江を形成

## 大船渡市のリアス海岸

形成年代 約80万年前～現在(新生代第四紀)

第四紀は、現在の日本に近い地形が造られた時代。氷河期の中でもとりわけ寒い氷期に造られた谷が、暖かい間氷期に地上の氷河などが溶けた影響で上昇した海面の下に沈んでリアス海岸となった。三陸鉄道リアス線宮古～盛間で見られる。



層が堆積した時代の出来事を読む

## 大唐の倉

形成年代 約6300万年前(新生代古第三紀晩新世)

遠目にも目立つ美しい地層。白い部分が凝灰岩層、植物化石や木炭などを含む層もある。比較的新しい時代に川に堆積したもので、晩新世の陸地で溜まった地層が見られるのは国内では珍しい。●三陸鉄道リアス線陸中野田駅から徒歩20分



「つりがね」の名の理由は?

## つりがね洞

形成年代 約1億3000万年前(中生代白亜紀)

白亜紀のマグマが深い地下でゆっくり冷えて固まった花崗岩でできた岩。花崗岩は硬いが風化しやすいため、波によって穴が空いた。今もなお侵食され続けている。●三陸鉄道リアス線久慈駅からバス26分の浄土ヶ浜下車、徒歩5分



岩手県立博物館の資料をもとに作成した、三鉄沿線の地質図。早池峰山から釜石あたりを境に、南は日本最古級のものを含む地質、北は温かい海で造られた比較的新しい地層がこすりつけられた付加体を土台とする。

ガイドさんと  
商店街でつまみ食い

# 陸中山田

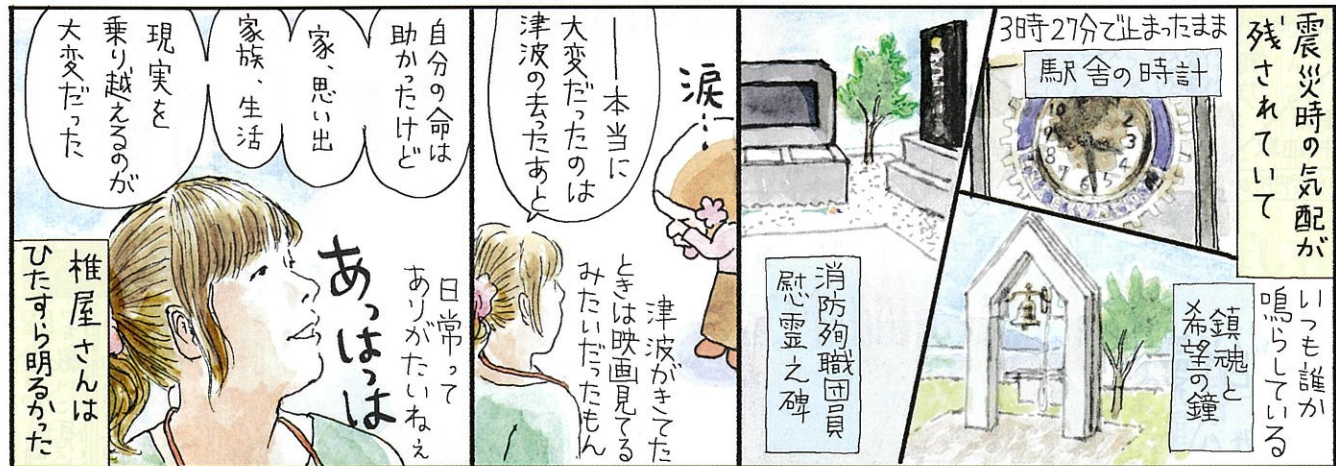
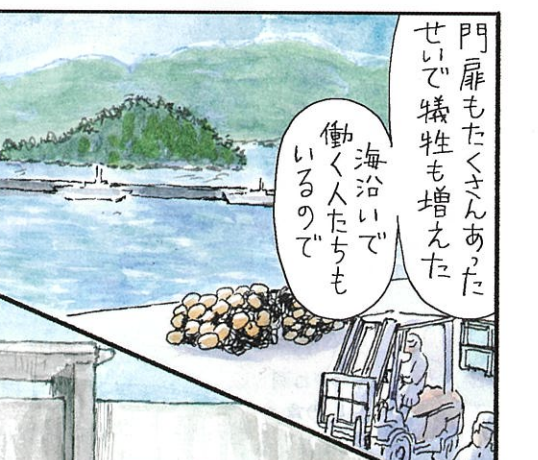
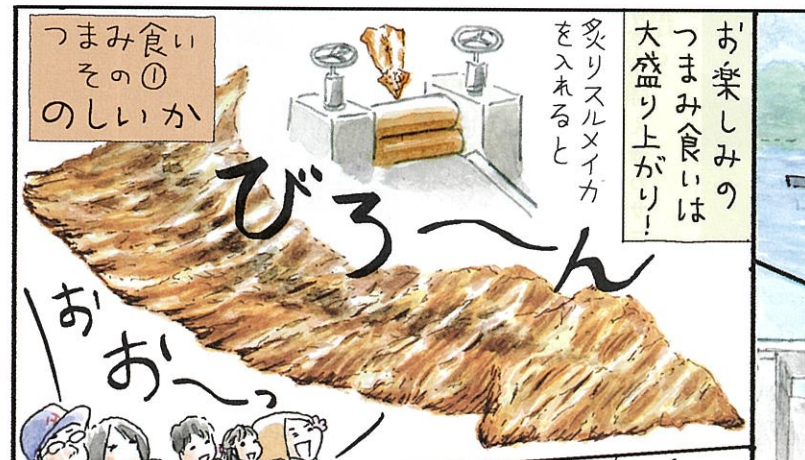
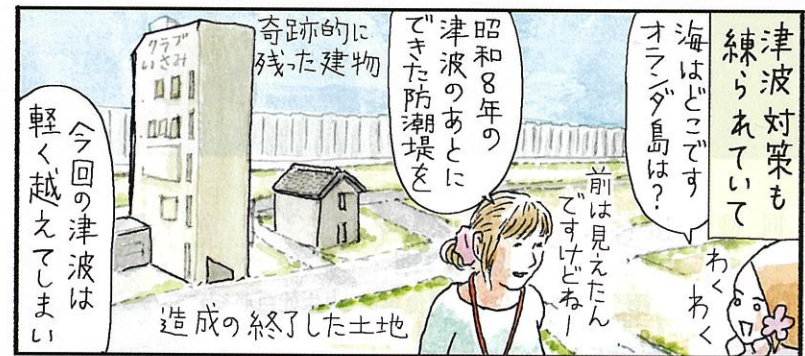
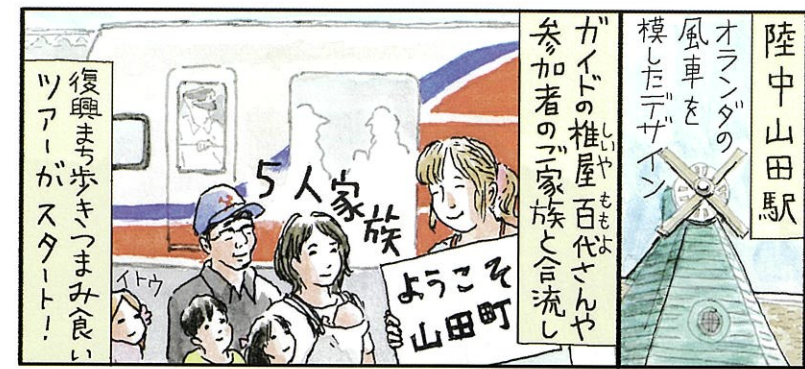
陸中山田

岩手県山田町

海の十和田湖と呼ばれるほど穏やかな山田湾。そこに面したこの町も、津波を受けた地域。つまみ食いに引かれて参加したツアーだったけれど、そこには災害を乗り越え前へと進む、町の姿そのものがあつた。

イラスト＝  
イトウエルマ

復興まち歩き つまみ食いツアー  
☎0193-82-3111(やまだワンダフル体験ビューロー) /  
つまみ食い2種1500円、3種1700円(4名以上で催行、  
3日前までに要予約)







## 鉄の歴史館

日本人と鉄との関わり、釜石の近代製鉄などについて紹介するミュージアム。大島高任を筆頭に、釜石の製鉄発展に貢献した先人たちの功績のほか、高炉の模型や映像・音声などで製鉄の歴史をわかりやすく解説している。

☎0193-24-2211/9:00~16:00受付、火曜休/500円/岩手県釜石市大平町3-12-7/三陸鉄道リアス線釜石駅からバス11分の釜石大観音入口下車、徒歩3分



鉄の歴史館のマスコットキャラクター・サイ太郎が鉄のオブジェに



- 1 橋野鉄鉱山にあった三番高炉を再現した原寸大の模型。仕組みと迫力が伝わる
- 2 高台にあり、釜石観音と釜石湾が一望できる
- 3 鉄の含有量が高いため磁石がよく着く、釜石で産出された鉄鉱石



青く輝く両石湾が見える両石駅から南隣の釜石駅へ向かう三陸鉄道

# 釜石

岩手県釜石市

製鉄魂を受け継ぐ  
ラグビータウン

駅に近づく車窓が映すは大きな工場。歴史ある製鉄の町には、製鉄マンやラグーマンたちの胃袋を満足させてきた伝統のラーメンやデカ盛りグルメがある。魚河岸の料理にオリジナルのスイーツまで、釜石を味わいつくそう。

取材・文：蛙子舎H 撮影：坂井良隆

釜石



新華園本店の釜石ラーメン550円はシンプルながら深い味わい

## 岩

手県の内陸、遠野・花巻へつながるJR釜石線の発着駅でもある釜石。駅前には工場がそびえ、釜石が日本の近代化に重要な製鉄の町として発展してきたことがうかがえる。

日本では江戸時代まで、砂鉄を材料としたたたら製鉄が行われてきたが、大砲などに用いるには強度が足りず、生産効率も悪かった。そこで安政4年(1857)、盛岡藩士・大島高任は甲子村大橋(現・釜石市甲子町)に洋式高炉を築く。これによって、鉄鉱石を材料にした強い鉄を連続で製造できるようになった。大島はその翌年、橋野村(現・釜石市橋野)にも高炉を築き、水戸藩へ大砲製造用の鉄などを供給した。こうして日本の近代化に大きく貢献した橋野鉄鉱山は、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産の一つとして、世界文化遺産に登録された。

明治27年(1894)に橋野鉄鉱山は役割を終えたが、官営から民営へと継続された釜石の製鉄は隆盛を極め、町は多くの製鉄マンでにぎわった。忙しく働く彼らに少しでも早くおいしいものを届けたいと約70年前に生まれたのが、現在の釜石ラーメンの始まり。今では市内各地に広まり、それぞれの店で味の違いが楽しめる人気のご当地麺だが、早く茹であがり、スープによ

### ひと足延ばして世界遺産を

#### 日本に現存する最古の洋式高炉跡 橋野鉄鉱山(橋野高炉跡)

安政5年(1858)に大島高任の技術指導により洋式の高炉が建設され、鉄鉱石から鉄の連続生産に成功。現在は3基の高炉跡の石組みをはじめ、水路や御日払所(事務所)の跡など初期の近代製鉄の遺構が残る。近くには鉄鉱石の採掘場跡や運搬路跡なども残されている。

☎0193-54-5250(橋野鉄鉱山インフォメーションセンター) / 見学自由(インフォメーションセンターは9:30~16:30、12月9日~3月31日休。無料) / 岩手県釜石市橋野町2-15 / 三陸鉄道リアス線釜石駅から車50分(シャトルバスあり、要予約。現地ガイド料込み2000円。運行日は要問い合わせ。岩手旅行社 ☎0193-31-1300)



- 1 インフォメーションセンターでは映像とパネルで橋野鉄鉱山を解説
- 2 インフォメーションセンターには橋野鉄鉱山を案内してくれる現地ガイドも500円(5人まで)
- 3 高炉の一部が当時のままの姿で残されている、一番高炉跡の石組み





## 地域密着のラグビーチーム 釜石 シーウェイブス RFC

平成13年に釜石を本拠地として発足した日本初の地域共生型クラブチームで、力強い海の波がその名の由来。平均年齢約25歳という若い力を武器に一体感あるチームづくりで、ジャパントップチャレンジリーグからトップリーグへの昇格とタイトル奪取を狙う。

ボールを持って疾走するフォワードの中野裕太選手(右手前)は、2019年シーズンから小野航大選手と共同キャプテンとしてチームを牽引する

ラグビーの魅力をここから発信

### ラグビーカフェ釜石

釜石駅隣接のシープラザ釜石2階にある、ラグビーとラグビーワールドカップの文化や魅力が満載の空間。写真パネルや選手サイン入りのボールやユニフォームの展示のほか、新日鉄釜石ラグビー部V7の映像も。

☎0193-27-8420/9:00~19:00、第1・3・5火曜休(シープラザ釜石に同じ)/岩手県釜石市鈴子町22-1 2F/三陸鉄道リアス線釜石駅から徒歩2分



万国旗たなびく下にテーブルとイスが用意され、じっくり見学できる



右/新日鉄の選手の汗がしみ込んだ、ラグビーボールとトロフィー  
左/子どもも楽しめるラグビー体験のゲームアトラクションもある

選手も大満足のおいしさボリューム

### 工藤精肉店食堂部

精肉店が営む食堂は、肉以外にも岩手県産の食材を中心に使用し、この道約70年のしっかりした味と量感たっぷりのメニューが釜石シーウェイブスの選手にも評判だ。人気のチキンカツ定食は、鶏モモ肉を丸ごと一枚揚げたビッグサイズ。肉の存在感があるカツカレーもボリュームたっぷりの人気メニュー。

☎0193-22-2185/11:00~15:00(土・日曜・祝日は17:00~20:00も営業)、水曜休/岩手県釜石市大渡町1-1-2 2F/三陸鉄道リアス線釜石駅から徒歩7分



上/オリジナルのソースも絶品のチキンカツ定食950円。一人で2人前食べる選手もいるそうだ  
左/良質な肉をこのボリュームと値段で提供できるのは、1階の精肉店の直営だから



釜石湾を目の前にいただく三陸の味

### ヒカリ食堂

「魚のまち釜石」を発信する魚河岸テラスにある、新鮮な地魚ほか釜石・岩手の食材を厳選した地産地消の店。日本有数のマグロ船をもつ濱幸水産・欣栄丸のマグロなど、釜石で仕入れた魚介類を生かす和洋料理に自信あり。

☎0193-27-7475/11:30~14:00・17:30~22:00(日曜は11:30~14:00のみ)、月曜休/岩手県釜石市魚河岸3-3 2F/三陸鉄道リアス線釜石駅から徒歩7分の東前下車、徒歩3分

- 1 店内とテラス席からは釜石湾が見渡せる
- 2 店長の石田学さん。釜石の魚介だけでなく門崎丑や三元豚など、岩手のブランド食材もおいしい料理に
- 3 今回食べた釜石港・本日入荷のうみ井(奥・時価)は、締めサバ・アジとマグロの刺し身がのって1100円。手前は釜石・欣栄丸さんのマグロ丼1500円



絵本「ミッフィー」の世界に浸る

### ミッフィーカフェ かまいし

「ミッフィー」がテーマの釜石オリジナルのカフェ。ミッフィーをあしらったスイーツや、作者のブルーナ氏の故郷であるオランダ家庭料理なども楽しめる温かい空間だ。復興の象徴的存在になることを願って平成27年にオープンした。

☎0193-55-6707/11:00~15:30 LO(土・日曜・祝日は~16:30LO)、水曜・第3木曜休/岩手県釜石市大町1-1-10 釜石情報交流センター内/三陸鉄道リアス線釜石駅から徒歩15分

- 1 隣の釜石情報交流センターでラグビーボールを持ったミッフィーのぬいぐるみ1200円(右)と1800円(左)を販売。
- 2 店内の絵本は自由に読むことができる。
- 3 時期によって内容が変わる、季節の果実のパフェ930円と、ミッフィーラテ480円



© Mercis bv

右/昭和26年に台湾出身の先代が釜石で開店したのが新華園本店の始まり  
左/時期や時間帯に左右されない安定した味が自慢の2代目・西条優度さん



### スープがやさしい釜石ラーメン発祥の店 新華園本店

先代が生み出した味を守り続ける、釜石ラーメンの元祖。琥珀色と表現されるスープは岩手県産の鶏ガラやゲンコツ(豚の骨)に、地元の魚介と野菜を合わせ、深みがありながら口あたりのやわらかい旨味が広がる。

☎0193-22-1888/11:00~15:00・17:00~20:00LO、火曜休/岩手県釜石市大町2-1-20/三陸鉄道リアス線釜石駅から徒歩10分

く絡むよう工夫された極細の縮れ麺と、醤油ベースの澄んだ琥珀色のスープが共通した特徴だ。

この鉄の町で、市民に長く愛されてきたスポーツがラグビー。かつての新日本製釜石製鐵所が誇る新日鉄釜石ラグビー部は、当時の釜石の勢いそのまま、昭和53~59年にかけての日本選手権7連覇をはじめ、数々のタイトルを手にした。その圧倒的な強さから「北の鉄人」と呼ばれ、釜石はラグビーの町としても名を馳せる。そんな新日鉄釜石ラグビー部の精神を受け継ぎ、地域のクラブチームとして釜石シーウェイブスRFCは誕生した。町に溶け込んだ彼らの逆境に負けない懸命なプレーが、釜石の東日本大震災からの復興を明るく後押ししてきた。地元にも数多ある選手御用達の飲食店を探して、選手に人気のメニューを味わってみるのも楽しいかも。9・10月には、ラグビーワールドカップの2試合が釜石鶴住居復興スタジアムで開催される。この秋はさらにラグビー熱が高まりそうだ。

また、三陸の豊かな魚介類が水揚げされる漁港の町という一面もある釜石では、魚料理が堪能できる店も多い。それに、震災からの復興に伴い、釜石発の個性的なおいしい新スポーツも現れている。どれから味えばいいのが目移りしてしまう町なのだ。



【観光の問い合わせ】  
釜石観光総合案内所 ☎0193-22-5835



## 郷土色満点！オリジナルグッズ

### さんてつサイダー

久慈の飲料メーカー・佐幸本店とのコラボレーション商品。三陸の海をイメージした青いガラスボトルで、甘さ控えめなキリッとした味が特徴だ。330ml240円。

### 紫雲 リアス線開通記念ボトル

野田村にある涼海の丘ワイナリーが醸造する山ブドウワイン。原料は野田村の自然豊かな環境で育てられた山ブドウを使用。震災復興、地域振興に役立てたいとの思いから平成28年に醸造を開始した。750ml2808円。



### 三鉄クロジカせんべい

岩手県産の雑穀をベースに普代村のすき昆布を使用、陸前高田八木澤商店の醤油で味つけた軽い歯ごたえのせんべい。三陸産イサダ(オキアミの一種)、ワカメ、宮古の塩を使用した塩味も美味。20g216円。

### 海だけの炊き込み御飯の素

三陸産のホタテやホヤ、すき昆布、アカモクの出汁をベースにした塩味。フレンチレストランのロネオール田野畑を開いた伊藤勝康シェフによる監修だ。一袋で米2合分、1134円。



### ヤギミルク・クッキー

日本唯一のヤギミルク洋菓子専門店、宮古駅前のレ・ド・シェーブルとのコラボレーション。ヤギミルクはクセがなくサクッとしたおいしさ。マスコット・イボンヌちゃんのイラストもかわいい。18枚入り860円。



地元と組んで作ったよ！  
買ってける～



ここで紹介した地元とのコラボレーション食品などは宮古駅前のさんてつやで買えるほか、一部は三陸鉄道ホームページから注文することも可能。三鉄のキャラクター・さんてつくんぬいぐるみは1500円。お問い合わせ●三陸鉄道☎0193-62-8900

### とろろ昆布のお吸物

岩手県産の昆布、ワカメ、フノリと削り節を使ったお吸い物。お湯を注ぐだけで手軽に磯の香りが楽しめる。具と調理出汁が別袋になっている。田老町漁業協同組合とのコラボレーション。5袋入り、432円。



### 三鉄カレー

岩手県産の骨付き鶏手羽元肉を2本丸ごとやわらかく煮込んだチキンカレー。ココナッツミルクを使用し、辛さのなかにもマイルドな味わい。NPO法人イーハトーブとりもとのコラボレート商品。250g540円。



## イベント列車に駅弁、グッズも

# 楽しい三セク＝三鉄

国や地方自治体と民間企業が共同で出資して運営している第三セクター鉄道。数ある通称・三セク線のなかでも、三陸鉄道はイベント列車や沿線企業とのコラボ商品の開発・販売など、旅行者を喜ばせようとする積極的な三セクなのだ。乗って、食べて、買ってとことん楽しもう。

## 期間限定！ イベント列車

### こたつ列車

こたつを列車内に設置した三鉄の冬の人気列車。掘りごたつに座ってぬくぬくしていると突然「なもみ」が登場し、乗客を驚かせる。車窓風景のいい場所ではいったん停車して風景を楽しめるほか、三陸の海の幸を使った弁当も予約制で食べられる。

●運転日 12月中旬～2月を予定  
●運転区間 例年、久慈～宮古間  
●ねだん 例年、運賃のみ(指定席利用の場合は別途300円)



- 1 なもみは三陸の小正月に伝わる風習。なまはげ同様、大声で暴れ厄を払う
- 2 4月に実施した、桜の時期に旬を迎えるカキを楽しむ花見ガキ列車の様子
- 3 春から秋の土・日曜・祝日に運転されるお座敷列車。アテンダントさんも乗車
- 4 予約すれば、こたつ列車で食べられる大漁唄御膳3000円。写真は昨年のももの

## 三陸産食材が魅力！ 駅弁&駅そば

### めかぶそば(宮古駅)

三鉄の社員や乗務員も利用する立ち食いそば店。三陸産めかぶをトッピングした、三陸めかぶそば380円(写真)のほか、ワカメの入った魚肉コロッケをトッピングした、宮コロッケそば450円、宮古ラーメン480円も人気。

●☎なし/7:00～18:00、無休  
●職員もよく食べています！



### うに弁当(久慈駅)

フタを開ければ一面のウニ！ 5、6個分のパンウニの下には、ウニの煮汁で炊いたご飯が控え、磯の香りがたまらない。予約外は一日20～40食限定、1470円(予約可)。

●☎0194-52-7310(三陸リアス亭)/7:00～16:30(うに弁当はなくなり次第終了)、不定休



余分なものは  
なーんもね！

南の終着駅からBRTが走る

# 盛・大船渡

岩手県  
大船渡市

盛・大船渡



ザ・バーガーハーツの恋し浜帆立バーガー・  
ランチプレート1490円(単品1004円)

JR大船渡線への中継点となる盛。古くからの港町には、地元漁師や水産会社が経営する海鮮料理に洗練された本格派の洋食店など、新鮮な海の幸をふんだんに使った豪快かつ繊細な旨さの料理が待っていた。

取材・文：蛙子舎H 撮影：坂井良隆

海岸線に次々と現れる巨岩や奇岩

## 碁石海岸

大船渡市末崎半島の海岸線に碁石八景と呼ばれる名所が約6km続く、三陸復興国立公園の一部。遊歩道が整備され、黒い玉砂利が美しい碁石浜や太平洋を見渡す碁石岬、海中に立つ不思議な形をした巨大岩など、変化に富んだ景勝地をめぐることができる。

☎0192・29・2359 (碁石海岸インフォメーションセンター) / 見学自由 / 岩手県大船渡市末崎町 / 三陸鉄道リアス線盛駅からバス50分の碁石海岸下車、碁石浜へは徒歩8分、穴通磯へは徒歩40分



三陸鉄道リアス線とJR大船渡線BRTの駅舎が並んだ盛駅

下船渡駅から細浦駅にかけて走行するJR大船渡線BRT

- 1 カッコ船(小舟)で洞門をくぐり抜けることもできる穴通磯
- 2 黒く艶のある、まさに碁石のような丸い小石が多くあることが名前の由来の碁石浜。きれいで石の持ち帰りは厳禁だ



岩手自慢のジューシーな逸品をサンド

## ザ・バーガーハーツ

1950年代アメリカの雰囲気漂うバーガーショップは、いわて短角和牛や門崎熟成肉などの極上肉を使ったパテをはじめ、パンズほかの食材も自家製にこだわる。恋し浜ホタテをまるごとコロケにして挟んだバーガーは圧巻。

☎090・2953・0997 / 11:30~20:30LO、月曜休 / 岩手県大船渡市盛町9-5 / 三陸鉄道リアス線盛駅から徒歩3分



- 1 一步店内に入れば、ハリウッド映画の一場面に紛れ込んだ気分
- 2 店中に飾られている古きよきアメリカな小物を見るのも楽しい
- 3 カウンターで気さくな店長・菊池亮さんと談笑しながらいただく



**北** からの旅人にとってはリアス線の終着駅であり、JR大船渡線BRT(高速バス輸送システム)に乗り換えとなる大船渡市の盛駅。大船渡は漁業・水産業をはじめ、臨海工業都市、貿易港としても活気ある港町で、平安時代には東北屈指の名刹である長安寺が開創されるなど、古くから多くの人でにぎわってきた。

江戸時代には仙台藩の所領であった大船渡市は、隣の陸前高田市や住田町とあわせて気仙地方と呼ばれ、気仙語など独特の文化が伝わってきた。気仙大工もその一つで、寺院や民家などの建築物から建具、繊細な細工ものまでをこなす職人集団だ。長安寺の本堂や鼓楼には気仙大工の仕事が現在も見られ、注目は寛政10年(1798)に建立された山門。当時ご禁制であったケヤキを用いたため仙台藩の伊達家にお咎めを受け、建築中止のままの姿を現在に残す。気仙大工の名棟梁と名高い松山の五郎吉が造った傑作といわれ、一見の価値がある。

リアス海岸特有の起伏に富んだ海岸線も大船渡の魅力だ。特に大船渡市の南端に位置する碁石海岸は、日本の渚百選などにもなっている景勝地。巨岩が海水に浸食され洞穴が3つ開いた穴通磯や、激しく打ち寄せる波音が雷のように鳴り響く雷岩など荒々しい風



旬の漁師料理が満載の夕食・さざなみ。奥は夕食で全員にサービスされるカジキマグロの兜煮(写真は約5人前)

- 1 はたらく鎌田水産の大漁旗が目印の建物
- 2 焼ガキ1個216円、ホタテ焼1枚432円、サンマ塩焼き200円と地酒の酔仙を
- 3 冷凍の蒸し牡蠣200g864円とホタテの貝柱200g1080円はお土産に



### 水産会社プロデュースのピカピカ海の幸 海の幸ふるまいセンター

大船渡の網元・鎌田水産から直送されたみずみずしい魚類が並ぶ直売所。購入した魚や貝は刺し身などにしてもらえ(調理費別途)、カキやホタテが焼けるグリルも設置されている。海産物のお土産も充実している。

☎0192-22-8310 / 7:30~19:00(食事は10:00~18:00LO、4名以上の予約で19:00~も対応)、水曜休 / 岩手県大船渡市大船渡町笹崎3-6 / JR大船渡線(BRT)大船渡魚市場前駅から徒歩7分

右 / 境内にある推定樹齢300年以上の大イチョウは大船渡市指定の天然記念物。下 / 入り口に扉や袖壁が見られない未完成の山門には「袖なしの門」の異名が



【観光の問い合わせ】  
大船渡市観光物産協会  
☎0192-21-1922

### 海を眼下に味わう豪快漁師料理と温泉

## 大船渡温泉

薪で沸かしたやわらかい湯の天然温泉と、三陸の磯料理が自慢の宿。海の幸が一番旨い旬の時期と食べ方を知り尽くす地元の漁師がオーナーだから、季節で変わる漁師料理の繊細な味つけとその品数に心もお腹も満たされる。

☎0192-26-1717 / 1泊2食8250円~/日帰り入浴11:00~20:00(土曜・祝前日は~15:00)、無休。430円/69室 / ナトリウム・カルシウム・塩化物泉 / 岩手県大船渡市大船渡町丸森29-1 / JR大船渡線(BRT)下船渡駅から徒歩15分



1 時期により、太平洋から昇る朝日を眺めながら入浴できる展望大浴場。2 大船渡湾に臨む高台に立つ宿は最高のロケーション。3 大船渡湾が見渡せる角部屋オーシャンビュー(写真)は1泊2食1万2570円~



高さ17・5mの二重楼門で岩手県内最大級という山門に、優れた意匠が施されている

### 総ケヤキ造りの堂々たる風格の山門 長安寺

約900年前の創建とされる京都・東本願寺の末寺で、浄土真宗大谷派の古刹。建築半ばの姿を残す山門など、境内の建物は気仙大工の匠の技が光る。江戸時代末期には、幕府の弾圧から逃れてきた蘭学者の高野長英が身を隠していたとも伝わる。

☎0192-26-3391 / 境内自由 / 岩手県大船渡市日頃市町長安寺57 / 三陸鉄道リアス線盛駅からバス12分の長安寺下車、徒歩11分

景がある一方、波に磨かれ丸くなった黒い小石が敷き詰められた、碇石浜のような静かで美しい浜辺もある。厳しさと穏やかさをあわせもつ三陸の海は世界的な漁場として、大船渡へも豊かな海の恵みをもたらしてくる。

また、大船渡市の中心部へ奥深く入り込む形の大船渡湾は、最奥部で盛川が注ぎ込むため、森の養分豊富な真水が適度に混じり、カキやホタテ、ホヤにワカメなどの養殖が盛んだ。さらに、三陸町小石浜の若手漁師が大切に育てる恋し浜ホタテは粒が大きく濃い旨味が入り、大船渡ブランドとして刺し身のほかハンバーグなどの意外な料理に変身している。

東日本大震災以降、地元の漁業・水産業関係者が立ち上がり、三陸の魚介類の美味しい食べ方をみずから提案する店や宿が誕生しているのは、旅人にとってもうれしい。海辺の町の人々の気風なのか、大船渡で今回出会ったどの料理にも新鮮な海の幸が惜しげもなく豪快に使われ、素材の濃厚な旨味が堪能できた。漁師が営む宿の海鮮料理はもちろん、イタリアンやハンバーグも同様。だからといって大味なもの一つもなく、繊細な技術で素材の味を生かした丁寧な料理ばかりなのは、気仙大工の心意気にも通じるものがあると感じたのは気のせいだろうか。

### 気仙のウマイ!を詰め込んだイタリアン

## ポルコ・ロッソ

三陸の魚介や気仙産の豚、鶏肉などを大切に扱い、素材の旨さを凝縮した本格派イタリアン料理。旬の旨味が濃厚なパスタからドルチェまで、多彩なメニューをいろいろ味わいたいなら、3000円~のおまかせコースがおすすめだ。

☎0192-26-0801 / 11:30~14:00LO・18:00~22:00、火曜休 / 岩手県大船渡市盛町10-1 / 三陸鉄道リアス線盛駅から徒歩4分



イタリア語でポルコ=豚、ロッソ=赤。入り口にはアニメ映画で見たようなキャラが

この人が作る料理なら間違いない、と感じさせるオーナーシェフ・山崎純さん



焼きウニと活帆立のクリームパスタほか、おまかせコースの一例(飲み物は別)

かもめソフト450円。上にかかった銘葉かもめの玉子の黄身あんがアクセント



### 気軽に寄りたい、縁側のスポット かもめテラス

銘葉かもめの玉子をはじめ、お土産や和菓子、洋菓子が勢ぞろい。店内にはスイーツも食べられる休憩スペースが用意され、好きなトッピングで自分だけのかもめの玉子ができる、DECOかもめの玉子づくり体験もある。

☎0120-311-514 / 9:00~19:00、無休 / 岩手県大船渡市大船渡町茶屋前38-1 / JR大船渡線(BRT)大船渡駅から徒歩3分



右 / 敷地内のえんがわカフェでは買ったお菓子をくつろいで食べられる左 / 笑顔で詳しくお菓子の説明をしてくれたスタッフの猪股博光さん



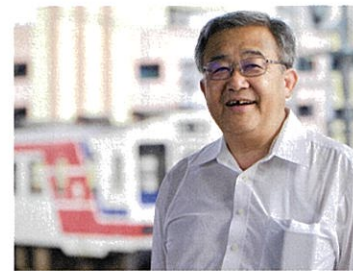
上 / DECOかもめの玉子づくり体験1000円(要予約)

下 / 光の朝(たま糖萬十、練乳味のみるく萬十各6個入り)2000円



# リアス線開業まで

発災から5日後に一部区間で運行再開したことで、全国から多くの支援を受け復興の象徴となってきた三陸鉄道。線路は段階的に復旧を重ね平成26年4月に全線で復旧。今年3月にはJR山田線の宮古～釜石間を移譲された。発災からの道のりを三陸鉄道旅客営業部副部長の富手淳さんに伺った。



宮古にある本社に勤務する三陸鉄道の富手さん。この記事の写真は富手さんによる提供

JR山田線の一部を移譲され、リアス線として新たなスタートを切った。写真=交通新聞クリエイト

## 奇跡の復活を果たした 8年前の偶然と必然

「震災から3年間で全線復旧できたのは、ある意味奇跡的なものかもしれない。そう話す富手さんは、昭和59年の三陸鉄道開業時から勤める第一期生だ。8年前の3月11日、激しい揺れのあと、駅西側の跨線橋に避難した富手さんは、駅に停車する1両のディーゼルカーを見て「あの車両はエンジンがかかる、停電になっても大丈夫だと思っただ」と言う。宮古市の本社屋が停電するなかで、照明も暖房もあるディーゼルの車内が災害対策本部となった。もしも車両がなかったら、対応に手間取って復旧が遅れただろう。また、会社の携帯電話が災害時優先通信に設定されていたのも大きかった。通信が制限されるなか、運輸局などの関係機関とスピーディーに連絡を取り合うことができた。さらに、それまで古い中古車を買っていた社用車をリースに切り替え、新車にしていた。

「故障がちの中古車だったら、震災後の視察ができなかっただろう」と富手さん。これらは望月正彦前社長らによって推進し、導入されたものだ。震災前に導入された事柄や当日の偶然が、三鉄の復旧を早めたのだ。発災から3日目の3月13日、津波警

報の解除を受け、富手さんは沿線の被害状況の視察へ出かけることにした。望月社長も同行し、一緒に社用車で田老方面へ。被害状況を視察すると、区間によってはすぐに復旧できそうだった。ある場所では線路が道路代わりになって人々が歩いていた。島越でも地元の人たちから「三鉄はいっ動くの」と言われ、鉄道が必要とされていると感じたという。

「走れるところは走らせろ」望月社長のこの一言が、その後の三鉄の運命を決定づけた。「社長が、しばらく運転を休もう」と判断すれば、今の三鉄はありませんでした。ただちに復旧が進められ、運輸局からも許可を得られた。5日後の3月16日には久慈～陸中野田間。9日後の3月20日には宮古～田老間。29日には岩泉小本まで復旧し「復興支援列車」を走らせた。その懸命な姿に、やがて全国から応援や支援の輪が広がっていった。

## 復興の象徴となった三鉄 エールと辛い意見

「震災直後から、本社には応援や激励などさまざまなメールが寄せられました。が、赤字路線だから復旧せず廃止すべき」という意見も結構ありました」と富手さん。傷口に塩を塗られるような辛い意見。しかし「5日後に動いた

ことでメールが増え、復旧しようの声が大きくなった。賛否半々なら、国から復旧の予算が出なかったでしょう」と言う。「11月には復旧工事に着工、12月に予算が決定しました。着工を急いだのは、3年後の4月、学生の通学に間に合わせるためでした」。

これらは団体申し込み扱いで個人車位では利用できないが、今年オープンした鶴住居駅隣接、うのすまい・トモスは震災の記憶や教訓を未来に伝える施設。99・8%の児童生徒が生き延び釜石の奇跡と呼ばれた、あの日の避難状況を知ることができる。震災の痕跡が少しずつ消えるなかで、「あの日」を忘れないことも大切にしたい。

三陸鉄道は北リアス線、南リアス線ともに段階的に復旧し、平成26年4月に全線で運行再開。そして今年3月には、JR山田線の宮古～釜石間が移譲され、日本一長い第三セクター鉄道としてスタートを切った。

「三陸プレミアムランチ列車」「復興の今」学習列車」という3本の特別列車が運転された。なかでも「三陸縦断夜行列車」は富手さんがかねてより温めていた企画で、南北リアス線が山田線によって繋がったのを機に三陸防災復興プロジェクトの一つとして実現した。21時に盛を出発し、途中日の出を眺め、終点の久慈に翌朝5時40分に到着する。今後このような企画を実施してほしいが……。

「宮古～釜石の利用客は予想以上に多くて安心しました。人口減少など地方鉄道の問題が三鉄にもあり、気は抜けませんが」と富手さんは言う。地元利用者のほかに、観光利用者を増やすことも大切だ。「震災学習列車」は平成24年から運行。三鉄の社員が震災の経験を車内で話すもので、一両単位での貸し切り列車として利用できる。修学旅行や会社の団体など、利用者は堅調に推移している。より詳細に震災について学習できるフロントライン研修も平成23年5月から継続する。これは列車ではなく、バスで被災地をめぐるもの。資料も豊富にそろろう。

「このたびのリアス線全通で、社員が数十名増えましたが、まだ人員不足の状態です。夏期は混雑のため企画列車を運行するのなかなか難しく……。車両も不足気味なんです」と富手さん。「旧山田線区間は南北リアス線に比べるとローカル線の雰囲気があります」

まずは普通列車で全区間を乗り通してほしい。車窓に見る青い海岸と海岸の美しさこそ、三鉄一番の魅力だろう。

「このたびのリアス線全通で、社員が数十名増えましたが、まだ人員不足の状態です。夏期は混雑のため企画列車を運行するのなかなか難しく……。車両も不足気味なんです」と富手さん。「旧山田線区間は南北リアス線に比べるとローカル線の雰囲気があります」

## 沿線に残る「あの日」の記憶

## 姿は変わっても住民のために 陸中山田駅



生まれ変わった駅舎はオランダ風車をイメージした外観、内装は木の温もりを感じるフローリング床に



8年前、10.9mの高さの津波が襲った山田駅。プロパンガスや車の燃料に引火し火災が発生。駅舎は無残にも焼失してしまった



国鉄時代、震災前の駅舎。屋根上の大時計はロータリークラブが贈ったもので、現在は市街を望む御蔵山に設置されている



## 平成の津波に耐えた象徴 ど根性ポプラ 三陸駅

奇跡の一本松が有名だが、この「ど根性ポプラ」は昭和三陸地震、チリ地震、東日本大震災と3度の地震と津波に耐えた。徒歩5分



## 昭和三陸大津波の名残 津波石 吉浜駅

「昭和八年三月三日ノ津波ニ際シ打上ゲラレタルモノナリ」と刻まれた約30tの巨石。埋められ、津波により再び現れた。徒歩20分